

平成26年度 積丹町功労者表彰式

～町発展への御功績を讃えて～

町功労者7名を表彰



▲ 前列左より 荻野正さん、土井俊治さん、佐藤義美さん、木村ミヨさん
後列左より 佐藤議長、松井町長、柳澤町功労者表彰審議委員会委員長

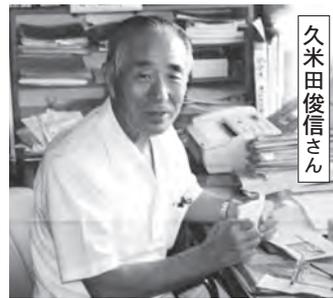
平成26年度積丹町功労者表彰式が11月25日、総合文化センターで挙行されました。
この表彰は、町の発展に功績のあった方や、スポーツ、文化等において優れた成績を取めた方などを表彰するもので、今年度は7名の方々が受賞され、当日は4名の方々が出席し、松井町長から表彰状などが贈られました。この度の受賞を町民の皆さんとともに心から祝福し、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



海田龍一さん



川井順應さん



久米田俊信さん

◆積丹町社会貢献賞◆

久米田 俊 信 さん
(美国町・88歳)

柳町会会長として地域の自治会活動の振興に尽力され、本町の自治の発展に貢献されました。

荻野 正 さん
(野塚町・80歳)

野塚町内会会長並びに積丹町自治会等連合会役員として地域の自治会活動の振興に尽力され、本町の自治の発展に貢献されました。

川井 順 應 さん
(入舸町・74歳)

保護司として更生保護運動の推進に尽力されたほか、人権擁護委員並びに積丹町交通安全指導員会会長などを歴任され、本町の民生の安定に寄与されました。

土井 俊 治 さん
(野塚町・85歳)

自ら薬店経営に精進され、商

業を通して本町の地域住民の健康維持と保健衛生の増進に貢献されました。

◆積丹町産業貢献賞◆

海田 龍 一 さん
(野塚町・79歳)

積丹町農業委員会会長並びに同委員として尽力されたほか、積丹町農業協同組合役員などを歴任され、本町の農業の振興に貢献されました。

佐藤 義 美 さん
(日司町・75歳)

海区漁業調整委員並びに積丹漁業協同組合役員などを歴任され、本町の水産業の振興に貢献されました。

◆積丹町公益貢献賞◆

木村 ミ ヨ さん
(美国町・85歳)

美国町に所在する私有地を公共用地として寄贈され、本町の公益事業の推進に寄与されました。



2月



1月



4月



3月



6月



5月



8月



7月



10月



9月



2014年 写真で振り返る

1月 成人式
17名の新成人の新たな門出を祝いました。

2月 しゃこたん夢あかり
2,136個の灯りがまちを温かくつみました。

3月 美国中学校卒業式
19名の卒業生の旅立ちを祝いました。

4月 美国小学校入学式
10名の新生が入級生や先生に温かく迎えられました。
※新一年生は美国小のみ

5月 第22回北後志消防大会
10年ぶりに積丹町で消防大会が行われました。

6月 積丹ソーラン味覚祭り
2万7千人が来場し、大盛況でした。平成27年の開催は記念すべき第10回を迎えます。

7月 例大祭
町内各地区で伝統ある例大祭が賑わいをみせました。

8月 婦美町自治会盆踊り
地元の参加者や帰省客がやぐらを囲み、盆踊りを楽しみました。

9月 敬老会
今年の敬老対象者は614名でした。

10月 JTの森積丹
初となる余別川流域エリアでの活動に約160名が参加しました。

※11月分は4P、12月分は6・7Pに掲載しています。

余別小児童2名が入賞！ 全国最大規模「一茶まつり全国小中学生俳句大会」

俳人小林一茶の句碑が建立されるなど同氏ゆかりの地とされている炎天寺（東京都・足立区）が主催する全国最大規模の俳句大会「一茶まつり全国小中学生俳句大会」で余別小5年生の外崎堅祥君（写真左）が最高



賞「一茶まつり大賞」に次ぐ特選「東京都知事賞」に輝き、また、同5年生の柏崎泰佑君（写真右）が入選の快挙を果たしました。

本年度の小学生の部には全国45都道府県の6万6,447人から応募があり、特選12句、秀逸295句、入選1,136句が選ばれました。

外崎君は「好きなカナヘビをテーマにした俳句で自信があつたけど、まさかこんな賞をもらえると思いませんでした」と受賞の喜びを、また、一昨年以来二度目の入選となった柏崎君は「次は入選より上の賞を目指したい」と次回への意気込みを語ってくれました。

特選「東京都知事賞」

5年 外崎 堅祥 君

カナヘビよ にげるなほくも つれてつて

入選

5年 柏崎 泰佑 君

サクラマス 集うせせらぎ 余別川

高知県香美市・JAとさかみ「土佐香美農協柚子生産部会」より 柚子玉が寄贈されました！

積丹町の姉妹都市、高知県香美市から特産品の柚子玉が贈られ、町内の小中学校や保育所などで配布されたほか、岬の湯しゃこたんでは12月23日に“柚子風呂”が実施され、訪れた入浴客を楽しませました。

今回の柚子玉の寄贈は、JAとさかみ「土佐香美農協柚子生産部会」より姉妹都市の香美市の特産品をより多くの人達に知ってほしいとの趣旨で行われたものです。昭和41年に香美市物部町で生産が始まった柚子玉は今や出荷量日本一となり、その味質についても日本一との高い評価を受けており、同市が誇る特産品の一つです。

この度の柚子玉の寄贈に感謝し、両市町の交流の輪をますます広げていきましょう。



▲大きな柚子玉を手にポーズをとるびくに保育所児童

新しい地域おこし協力隊を紹介します！

午来勇人さん（札幌市在住）が着任

新たな「地域おこし協力隊（高齢者生産活動支援員）」として札幌市在住の午来勇人さん（29歳）が着任し、12月8日から町生産活動センターを拠点に活躍しています。

午来さんは、『積丹の大自然から「豊かな心」を学び、積丹の大先輩達から「自然と共に生きる術」と「日本伝統の技」を

学び、それを発信していきたい。「今のままの積丹」を守りつつ、みんなが笑顔になる町づくりに、私のこれまでの経験が役に立てばこの上ない幸せです。積丹に愛され、積丹を愛す男になりたい。まちで見かけたら気軽に声をかけて下さい。』と抱負を話し、職務はもとより趣味のサーフィンや登山、釣りなどを通じて積丹町の美しい自然を全身で感じたいと、新しい環境での生活に期待をこめていました。

第26回 寄せられた力作199点!

積丹観光フォトコンテスト

第26回積丹観光フォトコンテスト（積丹観光協会主催）の審査が、12月10日に審査委員長に久保田亜矢氏（全日本写真協会会長）を迎えて行われ、応募総数199点の中からグランプリに輝いた田澤康史さん（奈井江町）の「宝島星景」のほか、4賞13作品が選ばれました。



▲グランプリ受賞作品「宝島星景」（奈井江町・田澤康史さん）

の募集が行われ、「積丹の四季」部門では積丹の特徴的な自然景観や町内のイベントなど、「あなたの思い出に残る積丹の風景」部門では、旅の思い出、日常やお祭りの何気ないワンシーンなど多彩な作品が集まりました。

審査委員長の久保田氏は「例年同様素晴らしい積丹の魅力を表現した作品が集まった。作品を見た者がハッとさせられるオリジナリティーに富んだ新鮮な積丹表現を今後に期待したい。」と講評をまとめました。

毎年、道内外の多くの方々からご応募いただき、魅力溢れる積丹の風景を写した作品は、今後の積丹観光をPRする素材として活用させていただきます。

平成26年第4回町議会臨時会 議会ニュース

平成26年第4回町議会臨時会が12月5日に招集され、同日閉会しました。そのあらましについてお知らせします。

報告第1号

専決処分承認を求める件
（平成26年度積丹町一般会計補正予算（第6号））について

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行に係る経費564万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を28億888万5千円にしたものです。

（承認）

です。

議案第1号

積丹町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

平成26年人事院勧告に準拠して、町職員の給与に係る給料表及び勤務手当支給率を改正し、平成26年度から適用実施するため、本条例の一部を改正するものです。

議案第3号

積丹町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に職員人件費9万2千円を追加し、1億7,111万5千円にするものです。

議案第4号

国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

事業勘定において歳入歳出予算の総額に職員人件費9万7千円を追加し、1億6,956万8千円に、また直診勘定において歳入歳出予算の総額に職員人件費22万8千円を追加し、688万1千円にするものです。

議案第5号

下水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に職員人件費10万5千円を追加し、6,172万9千円にするものです。

（議案第1号から議案第5号

までいずれも原案可決）

パブリックコメント （ご意見）募集

積丹町も協定を締結し、構成市町村のひとつとなっている「第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョン（素案）」の計画策定に当たり、中心市となっている小樽市ではご意見を募集しています。

各案は小樽市役所情報公開窓口（本館2階総務課内）などのほか小樽市ホームページにも掲載します。

◆提出先

小樽市企画政策室（市役所本館3階）

◆提出期限

1月31日（土）まで

【問合わせ先】

小樽市企画政策室
TEL 0134-32-4111（内線 273）